

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2020年9月17日

1. 新型コロナ、紙巻きタバコ、電子タバコ、禁煙: イングランド一般住民対象調査

【松崎雑感】

自己申告とはいえ、タバコを吸うと新型コロナ感染リスクが高かったというデータです。注目したのは、新型コロナで大変な時期のイギリス国内で、数千人を対象とした住民を代表とした調査が行われたことです。イギリスの科学研究の懐の深さを痛感しました。

新型コロナ、紙巻きタバコ、電子タバコ、禁煙：イングランド一般住民対象調査

Tattan-Birch H (Institute of Epidemiology and Health Care, University College London, London, UK.), Perski O, Jackson S, Shahab L, West R, Brown J. **COVID-19, smoking, vaping and quitting: A representative population survey in England** [published online ahead of print, 2020 Sep 11]. **Addiction**. 2020;10.1111/add.15251. doi:10.1111/add.15251

目的：自己申告調査：新型コロナ感染状況、手洗い、喫煙歴、電子タバコ使用歴、ニコチン代替療法歴(NRT)をもとに、新型コロナ感染がタバコ製品使用中止を促進したか、家庭での喫煙が増えたかを検討。デザイン：横断的調査。対象：2020年4～5月におけるイングランドの一般住民代表集団。18才以上3179名。

方法：質問項目：新型コロナ感染と診断されたあるいはそうに違いないと考えたか、家庭で、調理、食事、顔に触る前に手を洗うか、新型コロナに感染したために紙巻きタバコ喫煙あるいは電子タバコを止めようとしたか、家庭での喫煙を減らしたか増やしたか。

結果:生涯非喫煙者と比較して、自己申告新型コロナ感染率は明らかに現在喫煙者、禁煙して1年以上経つ者に多かった(現在喫煙者20.9%, オッズ比1.34, 95%信頼区間1.04-1.73)、1年以上の禁煙者(16.1%, オッズ比1.33, 95%CI=1.05-1.68、生涯非喫煙者14.5%)。禁煙して1年未満の者も生涯非喫煙者よりも新型コロナ感染率が高い傾向があったが有意ではない(22.2%, オッズ比1.50, 95%CI=0.85-2.53, Bayes factor=0.55-1.17)。Bayes factorによる解析では、NRTおよび電子タバコ使用が新型コロナ感染率を増やしてはいなかった。ニコチン含有タバコ製品使用者は手洗い率が有意に高かった(85%以上)。タバコ製品使用者の12.2%が過去3か月以内に禁煙を試みていた。紙巻きタバコ喫煙者の10人に1人は新型コロナ感染がきっかけとなって禁煙にチャレンジしていた。

結論：イギリスでは、現在および過去喫煙者に新型コロナウイルス感染率が高いようである。しかしNRT使用者あるいは電子タバコ使用者ではそのような関係はみられなかった。ニコチン製品使用者における手洗い率は高かった。紙巻きタバコと電子タバコ使用者でタバコ製品使用にチャレンジした者は少なかった。